

# 学科推薦本コーナー

理学部、工学部、総合情報学部各学科の先生が、新入生の皆さんに読んでほしい本をご紹介します。これからの大学生活の中で、学ぶ分野は学科によって異なってきますが、自分が在籍している学科のみならず他の学科の先生の推薦する本も是非読んでみてください。

## 理学部

①タイトル ②著者 ③出版者 ④所在 ⑤推薦コメント ⑥推薦者

### 応用数学科

#### ①ピタゴラスの定理：4000年の歴史

②E・マオール 著；伊理由美 訳 ③岩波書店 ④11号館一般

⑤ピタゴラスの定理（三平方の定理）は良くご存知のことと思います。この本では、その歴史・関連する数学の話題・種々の（371個の）証明法について18の章に分け、終章のピタゴラスが生まれたサマス島への著者の訪問記まで大変読みやすく書かれています。 ⑥酒井隆先生

#### ①ダイヤモンドはなぜ美しい？：離散調和解析入門

②砂田利一 著 ③シュプリンガー・ジャパン ④11号館一般

⑤規則正しい面に囲まれた結晶の中でも、ダイヤモンドはとりわけ美しい形を持っています。本書はその「美・調和」を数学者の立場から追求し、周期性・対称性・最小原理の三つの観点から述べています。数学がどのような発想に基づいているかを知るうえで大変優れた書物です。 ⑥酒井隆先生

### 化学科

#### ①化学者たちの感動の瞬間：興奮に満ちた51の発見物語

②有機合成化学協会 編 ③化学同人 ④11号館一般

⑤有機合成関連の研究分野で優れた業績をあげてきた先生方が、研究を通して得た「感動や喜び」を語った短編物語集です。岡山理科大学の先生も寄稿されており、優しい内容で非常に読みやすい一冊となっています。 ⑥岩永哲夫先生

#### ①透明金属が拓く驚異の世界：不可能に挑むナノテクノロジーの錬金術（サイエンス・アイ新書）

②細野秀雄，神谷利夫 著 ③ソフトバンククリエイティブ ④11号館一般

⑤透明金属と聞いてすぐどのようなものか分かる人は科学の造詣が深い。著者たちのグループはその研究で次々に常識を打ち破る成果をあげており、つい最近も鉄を主成分とする高温超伝導体を発見して、世間で騒がれています。最先端の研究を分かりやすい言葉で書いた本です。 ⑥森重國光先生

### 応用物理学科

#### ①「地球温暖化」論に騙されるな！

②丸山茂徳 著 ③講談社 ④11号館一般

⑤今日、「人類の化石燃料の使用によって大気中の二酸化炭素が増加し、この温室効果ガスのために地球の気温が上昇している」ことは、周知の疑いようのない事実となった感がある。ところが、著者は、この「常識」を「科学」を用いて真っ向から否定してみせるのである。 ⑥豊田新先生

#### ①化学ぎらいをなくす本：化学再入門 新装版（ブルーバックス B-1534）

②米山正信 著 ③講談社 ④11号館ブルーバックス

⑤この本は、化学の内容のうち、まず最初に習う「原子の構造」、「化学反応」、「モルの概念」等について分かりやすい文章で解説しています。部分的には漫画も入っており、よく分かるための工夫が随所に見られます。化学に興味のある人、化学を習わなかった人などには必読の書です。 ⑥野瀬重人先生